

集落情報誌 おおせ物語

平成 20 年 10 月 1 日 第 8 号

発行／おおせを語る会

プロジェクト **4**
project

※参加費無料

大瀬が健康でいきいきプロジェクト

10月12日(日) 午前8時開会!!

プロジェクト第4弾となります「大瀬が健康でいきいきプロジェクト」を10月12日(日)午前8時より開催いたします。

ちょっとだけ開始時間が早いのですが、11時ころに①町誕生記念・駅伝競走大会が大瀬を通過すること、もうひとつは、②みんなで昼食の準備をしてお昼に楽しい「芋煮会」をするために下記のような日程を設定させていただきました。<大瀬の

皆さんは早起きなので、多分ダイジョウブ!と思っています。なお、前の晩は少し早く寝ましょう(^_^>

とにもかくにも、みんなで参加して楽しく有意義な会にしたいと思います。稲刈りシーズン真っ只中!!という大変忙しい日程でもあり、大変恐縮ですがみんな誘い合って是非ご参加ください!!大瀬に住んでない息子・娘・孫さんも是非に!!



7/6の様子

今回のプロジェクトでは、前回・7月6日に開催した大瀬の地域資源調査のおさらいを行いながら、大瀬での生活、くらしをもっとよい方向へ変えていくための方法について、みんなで意見やアイデアを出し合いながらそれをまとめていくという作業を行います。

進め方や方法については、前回と同じく山形県農村計画課の『高橋信博先生』(白鷹町横田尻在住・通称「ちょんまげ先生」)が指南してくれます。全然心配はいりませんし、むずかしくもありませんので、気が〜るに参加していただきたいと思っています。

また、午後からは町健康福祉課の保健師さん『飯澤とよ先生』から、健康で元気に暮らすための『健康講話』、合わせて血圧測定などの簡易健康チェックもお願いしています。

日頃の生活で改善した方がよいこと、これをするともっと身体にいいとか、みなさんのためになるお話に期待したいと

思います。もしかすると「みのもんた」より役に立つ話かもしれませぬよ!?

お楽しみの昼食は、大瀬のみんなで作る芋煮で「ミニ芋煮会」を!と企画しています。

当日は、外にかまどを作って大瀬の山から採ってきたマキをくべ、野趣豊かに芋煮をつくらう!という計画です。(材料は町のスーパーから買いますけどね...)芋の煮かたについては、おとこ衆の担当。どんな味になるのか、お楽しみといったところです。

それに「おにぎり」を用意いたします。おにぎり担当はおなご衆。なお、お米は大瀬ブランドの米をとということで、後藤新市さんにご提供いただく段取りとしています。...きつとうまいべなあ〜。。

★参加申込 10月8日(水)まで
各区役員にお願いします。

= 日 程 =

- 7:50 大瀬公民館集合
- 8:00 開 会
- ワークショップ
- 11:00 終 了
- ① 町駅伝応援 (大瀬中継所)
- ② 昼食準備 (芋煮・おにぎり)
- 12:30 昼 食 (芋煮会)
- 13:30 健康講話 (簡易健康チェックと共に)
- 15:00 終 了 (予定)

プロジェクト
project

3

「大蔵村・四ヶ村・肘折の取り組みに学ぶプロジェクト」

大蔵村さ
行ってきたよ。

四ヶ村・肘折の
取り組みに学ぶ
「大蔵村」研修ツアー

去る9月22日・23日の両日、一泊二日という日程で大蔵村・四ヶ村と肘折の取り組みに学ぶ研修ツアーを実施いたしました。

大瀬の参加者13名に高岡、山口からの応援団も加わり、大変楽しい有意義な研修になりました。

棚田保全とその活用などの取り組みを行っている四ヶ村では棚田保存委員長の中島敏幸さんより、その活動状況などをお聞きした後、実際に棚田を見学しました。



「四ヶ村の畦畔（土手）はすごい。そこの米を全部ハセがけして1俵3万円にしているというのはすばらしいし、こういった条件不利地でもみんなが120%の力で頑張っていることに感銘を受けた。」

といった感想を言ってくれたかたもあり、研修の意義があったものと思います。

肘折では、宿泊したつたや肘折ホテルの柿崎さんに肘折温泉街をご案内いただき、肘折の素顔をのぞいたような感じになりました。「柿崎さんのような若い人も頑張っていて、これまでとは違う肘折を見る



ことができた。」という感想もあって、参加者みんなが好感触を持たれたようです。

宿での夕食会では、たが屋・吉三郎さんの歌を皮切りに、旅館貸し切りでの大カラオケ大会（・・・とまですると大げさすぎますけれども）の大変盛り上がり。大変賑やかで楽しいひとときをすごしました。

翌朝は、肘折名物「朝市」にみんなが繰り出し、野菜やきのこ、かぼちゃ煮まで、狭い路地にところ狭しと並ぶ農



林産物に感心しながらも、女性軍を中心に片っ端からお土産を買ってきたという、そんな研修となりました。

是非、また行ってみんべ！大蔵村に。



■参加者の感想

去る9月22日23日、一泊二日の大蔵村研修ツアーに参加させて頂き大変勉強になりました。大蔵村に向う途中、車内からながめる稲やそば畑に心うばわれました。

ふるさと未来館でお聞きした委員長さんからのお話も大変興味深く、特にふだんわらび汁を食べない子供たちがここに来て、田植えを手伝った時だけわらび汁を食べるといってお話に、田舎にしかない不思議な力を感じました。

また、日本棚田百選に選ばれている四ヶ村の棚田を眼前にし、感動を覚えました。

テレビで何度か見たことがありましたが、実際本物の棚田を眼前に、その棚田を造りあげた人間の生命がひしひしと伝わってきました。

日本棚田百選に選ばれるほどのすばらしい棚田を守ってきた四ヶ村の方の苦労は大変なものだと思います。その苦労があるからこそ、見る人の心にひびくものがあるのだと学ばせて頂きました。

貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

【文・五十公野文子さん】